

人郷夢

ストーリー

Vol.12

このコーナーでは、まちづくりなどの活動に取り組んでいる市民の方やグループにお話を伺い、活動内容や活動にかけける思いをシリーズで紹介します。

65歳から82歳までの元気な女性たちによるご当地アイドル「大越AKB84」をご存じですか？ 市内外のイベントなどで、人気アイドルグループの大ヒット曲「恋するフォーチュンクッキー」や「心のプラカード」でダンスを披露して地域を盛り上げています。今回は、大越町まちづくり協議会長で「大越AKB84」のプロデューサーを務める菅野輝夫さんにお話を伺いました。

老人クラブのイメージ向上を

福島県老人クラブ連合会会報「元輝新報」通信員の菅野さんと渡部登貴子さんには、ある悩みがありました。65歳になると老人クラブに入会できますが、なか

なか入会希望者が現れません。そこで、田村市社会福祉協議会大越支部の老人クラブ事務局員と一緒に考えて、入会者の増加を狙ったユーモアのある活動をしよ



▲第30回常葉商工まつりでダンスを披露 (H27/11/3)

うと心に決めました。26年9月3日、田村市大越町老人クラブ連合会のミュージック・カルチャークラブは、ダンスによる健康づくりと、会員数が減少傾向にある老人クラブのイメージ向上を目的に、「大越AKB84」を結成しました。名前の由来は、人気アイドルグループにあやかり、「A」は明るく、「K」はかわいい、「B」はっぱちゃんです。現在のメンバーは24人ですが、「84」と名乗ります。これは、世界保健機構（WHO）が発表した当時の日本人の平均寿命が、84歳であったことにちなんでいます。

武道館公演！

デビューは、26年9月15日に開催された大越町敬老会。手作りのチェックのスカートやリボンなど「女子高校生風」の衣装で、住民から大きな歓声を浴びました。その後は、田村市老人クラブ連合会芸能発表会や大越商工祭などのイベントにひっぱりだこ。常葉町の「スカイパレスときわ」で合宿したことが縁で、田村市のイメージキャラクター「カブトン」（※1）が親衛隊長に就任しました。

孫も応援

「孫が『ばあちゃん、カッコいい。』と喜んでくれた。」と喜んでいる。「主人が新聞をスクラップしてくれている。」「家族との会話が增えた。」——など、活動の思わぬ成果をメンバーは喜び、「高齢者でも頑張っている姿を子どもたちや家族に見せたい。」と意欲を燃やしています。

取材を終えて

メンバーの皆さんのダンスは、「未来はそんな悪くないよ、ツキを呼ぶには笑顔を見せること」（「恋するフォーチュンクッキー」の歌詞）と、気持ちをとても明るく元気にさせてくれます。大げさに言えば、「勇氣」をもらえます。これからも健やかに活動されて、見る人に勇氣と愛情を分け与えていけるのだと思います。新メンバーを絶賛募集中だそうで、菅野さんは「興味がある方は、ぜひお声がけください。」と話していました。（協働まちづくり課）



菅野輝夫さん（大越町上大越）と「大越AKB84」の皆さんと親衛隊長のカブトン

※1 カブトン…旧常葉町が昭和63年に「カブトムシ自然王国」として独立を宣言したことを契機に、自然豊かでカブトムシの仲間がたくさんいる常葉町に「ビートル64星雲」から移住。誕生日は1988年6月4日。身長210cm以上、体重1カブトン（＝約100kg）。いつも笑顔で優しいのが取り柄で、常に前向きでチャレンジ精神が旺盛。特技はじゃんけん、書道、餅つき、ジョギングで、田村富士ロードレース大会へも出場した。市を代表するイメージキャラクターとして日夜活動中。

※2 大越武道館（旧大越娯楽場）…大正15年、日本を代表する建築学者 今和次郎氏の設計により建てられた建造物。主に蕎麦やたばこの共同集出荷場として使用されていたが、農閑期には映画や講談、演劇が催されるなど若者の流出防止のための憩いの場としても活用されていた。平成19年、国登録有形文化財に指定。



▲福島県高齢者芸能発表大会でも大好評 (H27/10/3)